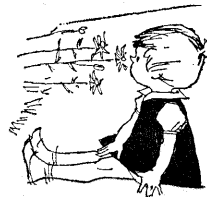


幼稚園の教育内容と指導の検討



山 村 ぎ よ

私は二、三年前から自分の幼稚園の教育内容や、その指導のひとつひとつに検討をはじめておりました。

幼児教育の根本的な考え方のあれやこれや……また、「当園としての理想の教育は何を目標として努力されねばならないのか」、日頃最善の努力をしていると思つて実施してきたことが、「はたしてこどもの幸福とつながつた効果としてみのつていたか」園長としての責任において、しっかりみつめてみたい、と考えていた時、ちようど、教育要領改訂の気運もみられて、多方面の先生方から、いろいろな意見を聞かれたり、きかされたりしながら、一方では自分の園の教育内容の検討に手をつけておりました。

いよいよ昨春、改訂教育要領も告示されましたので、40年度から使用する当園としての教育課程や、指導計画も作成せねばなりません。

なので（もちろん東京都教委から示される教育課程編成要領にもよるわけですが）その手始めとして、今まで検討してきました当園の基本方針を、更に、教育要領第一章の基本方針に照し合せて再検討し、また、その教育内容については39年度の計画をすすめながら観察記録をとる一方、38年度中に実施した週案、日案などの記録をもとに改訂された要領の教育内容を尺度として（六領域に示されるひとつひとつの項目によつて）再検討する仕事と、とりくみ、一応「社会」「自然」の領域のまとめをみましたので、ささやかながら昨秋、研究発表会を開き、多くの先生方からの有益な指導助言をいただいたり、また激励のことばをいただいて、感げきした2日間でした。今回編集部のご依頼をうけて、そのときの私の話から、その内容を紙面のゆるす範囲においてのべさせていただきます。

教育要領の基本方針から

たいへんおこがましい言い方ではありますが、要領の基本方針1項目が当園の基本方針と合致していることで、よろこびを感じ、今まで運営してきたことを「独自性をもつ当園の教育」として充分話させていただきました。

紙面の都合で私の話はその「はしら」だけを簡単にのべてさせていただきます。

1 幼児の成長発達に即して

教育の理想はより高くもちながらも、常に子どもの成長してゆく実態をとらえて、ひりひとりの子どもに充実した活動の発展がみられるような細かい配慮のもとに教育計画をすすめることに心がけました。

とくに次頁の基礎資料(A)でものぞかれるように、「友だち関係」から「うけ合う大きな教育効果」をみのがさないように、教育的環境の整備と私たち教師の「きめの細い指導」は、けっして先生の号令だけで子どもがうごかされることのないようにと注意しております。

2 指導のねらいを明確に

子どもの自由な遊びからいろいろと教育計画に導入しようと試み

ている当園では、その自由な遊びに流されて大事なねらいがぼやけてしまったり、また、片よりができないように、六領域のバランスを考えて、子どもの生活を通して常に教師お互同志の反省をきびしく行なっております。

3 ひとりひとりが自主的活動のできるような環境を

大かたの人たちはご存じのように古い園舎園庭、せまい保育室など、不備だらけの幼稚園に280名もの園児を収容することについては園長の責任として常に反省しながらその不備を「工夫と努力」でおぎなっているつもりです。そしてひとりひとりの園児がそれぞれ興味をいかして体あたりで思う存分活躍し「今日一日を満足して過ごした」という実感を心にだきしめて帰宅できるようにと念じて、「生活の場をつくること」「保育形態の工夫」「豊富な保育材料の選定」に全職員が努力をつづけております。

○せまい園舎、園庭を広く使用するためには、年令別に、また、クラス別に一週間に一度は園外保育を実施して残っているクラスの子どもたちがのびのびと広い園庭が使用できるように、保育形態に、いろいろと苦心しております。

○保育室内の遊び道具や、教具にも車をつけこともがひとりどこへでも自由に移動ができるように、また保育材料も子どもたちの自主的な活動が充分にできるよう豊富に用意してあります。ことに教材は広範囲にわたって選び、個性的な作品などが自由に創作

(A) こどもの姿について

幼稚園に入園してきた子どもがはじめて経験する集団生活の中で、友だちとの関係をもとに観察したものをまとめたものです。

幼稚園生活の中で芽生えた社会性がいろいろな経過をとって発達してゆくようすを拾いあげ、こどもの生活のままにきぎってみました。これによって年長、1年保育児の差がややはっきりしたように思うし、また地域差ものぞかれます。

ひとつひとつに事例をつけられないことが残念ですが、これが当園の教育課程作成の上に、また指導上の根本になるものと考えております。

この他にも個人的なようすや、ことば、うごき、音楽的反応など、あらゆる方面からとらえねばならないと思いますが、本園の実情から考えて、とくに社会性の面にしぼりました。

○印は38年度中にとらえた姿です。

期	三 学 期
<p>グループ造りの時期</p> <p>5. どの子どももよくあそび教師の指図があるとよく活動するが自分を認めさせようとして反抗するものがでてる。</p> <p>6. ややホス的な者がリードして好きな友だちを誘いグループの構成を上手にしている。</p> <p>7. 自主的な行動がとれ実定感をもつ。</p> <p>8. 教師の計画した遊びに夢中になってとびこみ生活発展させていく。</p> <p>9. おとぼんの役割を喜び進んでしようとするようすがみえる。</p>	<p>個々の成長する時期</p> <p>1. 教師や友だちと自由に意見をのべ合うことができる。 ・消極的な子どもも友だちの中で少しずつ自己主張をする。</p> <p>2. ひとりひとりが充実した遊びに入りグループ構成は未だ不安定にみえるが、しかしメンバーが固定する。</p> <p>3. グループの中に入れぬ程自我が強くなりびてしまった子ども2、3名はグループづくりのじゃまをすることがある。</p> <p>4. 殆んどこの子どもが活発なあそびをこのむ。</p> <p>5. 自分だけの生活を楽しもうとしてグループにも入らず、じゃまもせず、平然と遊んでいる者もある。</p> <p>6. 遊びの構成人員が多くなり、ながつぎがする。</p> <p>7. 問題が起ると自分たちで解決しようとする。</p>
<p>5. ややグループ的な遊びがみえだし友だちのことが考えられる。</p> <p>6. グループの遊びの中でも平行遊びが目立つ。</p> <p>7. 子どもどうしの話し合いでもみんな話すことができるようになる。</p> <p>8. 体力的なことをよるこび運動量が非常に増す。</p> <p>9. 友だちのことが気になったり友だちを批判するようになる。</p>	<p>個々の成長する時期</p> <p>1. 集団の中で個人差が目立たなくなる。</p> <p>2. けんかが少なくなり、手をだすことをしないで話し合いで解決しようとする。</p> <p>3. 友だち同志で自分のあやまちをなすり合いすることが多い。</p> <p>4. 絵をかくときなど表現がたくさくびのびしたものが多くなる。</p> <p>5. 自分の力をためそうとしたり責任をもたされたりすると非常に喜ぶ。</p> <p>6. 助力の必要な友だちに手をかき適当に協力してグループの中の仕事をやりとげようになる。</p> <p>7. 子ども同志ゲームのルールを教えたり教えられるりして気持よくあそぶ。</p> <p>8. リーダーのようなまとめ役をすることもがでてる。</p>
<p>5. グループのメンバーが決った友だちに片寄るときもある。</p> <p>6. ちがったグループに所属しようと思いをのべることもがでてる。</p> <p>7. 自然発生的なグループに入れぬ幼児がうったえて来るときがある。</p> <p>8. 言語発表、音楽リズムなど、また共同製作などのたのしさがわかり、ひとりひとりの充実した生活がグループ活動を発展させている。 (内容をよりよいものになろうと話し合う)</p>	<p>グループの中で個々の成長する時期</p> <p>1. グループの中でひとりひとりが自分の意見をはっきりのべ合い相談がまとまる。 (その過程に余裕がある)</p> <p>2. 自分の意見が通らぬときもグループからはずれないで活動にうつればみんなと一緒にたのしく活動している。</p> <p>3. 自分の考えたこと思いついたことが実現すると非常によろこび、おとなをびっくりさせる。</p> <p>4. 全体の遊び(劇あそびや共同製作)の中で自分たちのグループの位置や関係を考えることができてグループ同志で話し合いをすすめることができる。</p> <p>5. 先生や友だちに自分の言動を理解してもらえぬときは非常にくやしがりたりすねたりする者がいる。</p> <p>6. 幼稚園生活のすべてにわたって非常に充実した様子みせる。 (生活態度に、発表などに)</p>

〔文京区立第一幼稚園のこどもの姿〕

(子どもの成長発達に伴う集団生活の発達過程をとらえて)

昭和35年～38年度まで

		一 学 期	二 学 期	
年 少 児		<p>ばらばらの時期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入園の喜びをいろいろな姿で表わす。(ぶらんこにとびつく、先生に話しかける、先生の誘いに応じるなど) 2. よろこびと不安のいりまじったようすを表わす。(先生や友だちの誘いかけにも応ぜず母親のそばをはなれない) 3. 不安な気持ちをぶつける。(友だちや先生にあたる、おもちゃを独占したがる、さけび声を出す、足をばたばたさせる) 4. すべての生活に抵抗をかんじて自分の心をとぎしがまんしている者もある。 	<p>ややまとまりの時期</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 小人数の友だちと楽しく仲よくあそぶ。 (教師の指図をうけて) 6. 自分の好きな友だちを誘って好きな遊びをするがながつづきはしない。 7. 約束がわかって友だちや先生の誘いかけに気らくにはいつてくる。 ・友だちの名前をおぼえる。 ・リーダーになれることもいるがただはしゃいだり勝手な行動をする者がいる。 	<p>まとまりの時期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 約束を守って楽しく遊ぶ。 2. 幼稚園生活のたのしさがわかって自分から誘ってグループをつくらうとする。 3. まだ自分のことが一人でできずそのためにグループにも入れず仲間について行けない者もある。 4. グループ構成は不安定でグループでの遊びが長つづきしない。
		<p>ばらばらでまとまっている時期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入園の喜びをいろいろの姿で表す。(ブランコにとびつく、先生に話しかける、先生の誘いをまかまえていて応じる、先生の話をよくきこうと努力する、指図通りに行なうものが多い) 2. 先生や友だちの誘いに応ぜず母親のそばをはなれない者もある。 3. できないといつてなかなかとりつこうとしない者が多い。 4. 不安な気持ちをぶつける 5. 他人のこゝろを受けつけず仲間意識が全くない。 6. 並ぶとき一列になれず横にひろがる。 7. 個人差がはげしい。 8. いろいろの表現活動が型にはまってできている。 9. 交友関係が浅くすぐはなれる。 	<p>グループづくりの時期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ひとりでほんやりしているものがなくなる。 2. けんかやいいつけ口をするものがでてくる。 3. 生活習慣が一応身につく要領をおぼえることも多くなる。 4. いろいろなことにじっくり時間をかけてとりくむことが少ない。 	
二 年 保 育 年 長 児		<p>グループ造りのようすと個々の子どもの成長がぞかれる時期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幼稚園生活のたのしさがわかり意気盛んなことも多い。 2. 自分のことは何でも自分でできるので自分の思う通りに友だちをも引きこもうとしてぶつかりが起る(少しいぼつてみたくて乱暴になったりいじわるをしてみるものがある) 3. 年長期になった自覚過剰で約束をみだすこともとがめたり強制しようとしてけんかが起る。 4. 年長組になったことで非常に緊張しすぎて思いがけないことに抵抗を感じている者もある。(当然できることができない) ・年少の時親切にしてもらったことを想い出して新入園児に特に親切にしようとしてつとめるようすがみえる。 5. 友だちの言動が気になりおせっかいをする者がある。 6. 教師の誘いかけに気持よくとびこんでくる者や自主的な遊びのグループもあちこちにみられる。 ・自分だけの生活をたのしんで、どのグループにも入らず茫然としているものがある。 	<p>グループのかたまる時期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 非常に緊張していて教師の誘いかけに応じてたのしく遊ぶが反面にグループの約束をみだすことも出ると友だち同志で指図し解決する。 2. 遊具を通して遊ぶことが多く、自主的につくられた者たちのグループが子ども同志でゲームをおもしろく発展させている。 3. 各グループが何らかの目的をもって遊んでいる。 4. ひとりひとりの生活内容が充実すると共にグループの活動が活発になる。 	

(B) 根本方針について

当園のこどもの成長発達からおさえた根本方針は大ざっぱに3学期に分けました。具体目標もこれにあわせた方がよいと思いましたが、クラス担任が別指導計画を作成する場合の目やすに便利のように月別といたしました。

年間目標を年令別にしなかった理由は、個人差をもつ幼児の生活をのぞいた時、表面に表われるのぞましい行動や、反面にもつ多くの問題行動、表現活動などのことが多くの場合年令差とは違ってあらわれる場合が多いように思います。

各クラス別指導計画作成の場合にはこどもの姿をはっきり把握した上でそれぞれのクラスの実情や各担任のもちあじを生かして、年令別に具体的な指導目標をならべられるよう巾広く考えてあります。

根本方針		年間具体目標	()印は教育の仕上げとして特に年長児のために努力する
一 学 期	◎自分 のことは 自分で	四 月	1. 友だちや先生と仲良くあそべるように (2) あそびの中で自主的行動がとれるように (3) だんだんと集団のきまりになれるように (4) 新しい友だちを迎えて年長児としての自覚をもつように
		五 月	1. たのしく元気に戸外あそびができるように (2) 友だちとたのしくお弁当がたべられるように (3) きまりよい集団生活ができるように(やくそくを実行するよう に) (4) 自分のからだを自分で守るように(安全教育)
	◎誰とも しんぎん に	六 月	1. 健康な生活ができるように(とくにきまりよい生活態度を) 2. 梅雨期を通して自然を知らせるように (3) 初夏のころよい季節を十分に味わせるように……? (4) がまんづよい生活ができるように
		七 月	1. 七夕祭を友だちと一しょにたのしみ合うように (2) 夏の生活を充分たのしみながら健康生活のできるように 3. 夏休みを健康に過せるように (4) 家族の人たちとたのしくなにかをつくりだせるように
二 学 期	◎いろい ろな表 現活 動で 生活 を充 実 す	九 月	1. 夏休み中のたのしかった生活が友だちと話し合えるように 2. 夏休み中のいろいろな生活経験の発表が気持ちよくできるよ うに 3. きまりよい生活習慣が再び身につくように (4) 約束を守るように
		十 月	1. 友だちとの結びつきを深められるように(協力し合うように) 2. よろこんで運動会に参加できるように (3) 科学し考え合うように (4) できるだけ敏捷に団体行動のとれるように(安全教育)
	◎社 会を むか へに	十一 月	1. 秋の自然に興味をもたせるように……? (2) いろいろな経験を通して自由に積極的に表現できるように (3) 表現のよろこびを充分かんじられるように (4) 働く人たちや自然のみりにも感謝の気持ちをもてるように
		十二 月	1. 地域社会の一員であることを知らせ社会的行動にも関心も てるように 2. 寒さに向って日常生活の健康習慣が身につくように (3) ある程度の知的なあそびを満足するように (4) 友だちのよろこびをいっしょによりこぶことができるように
三 学 期	◎成 長を よ ろ こ ぶ あ う	一 月	1. 日常生活の中で自立的な生活態度と自覚をうながすように… …? (2) 寒さに負けず元気に生活できるように (3) ひとりひとりががまんづよい生活の範囲をひろげるように 4. 幼稚園内外の行事において国旗に親しむように
		二 月	1. 科学しつくりだすよろこびが充分わかるように 2. グループ活動にすすんで創造性を生かすように 3. ひとりひとりが積極的に表現力をのばす生活場面をひろげら れるように
		三 月	1. ひとりひとりが成長のよろこびと自覚をもって積極的に行動 できるように (2) 幼稚園生活のたのしさをひとりひとりの心にとどめられるよ うに

○放送教育の日常化を徹底させることに努力を。娯楽性と教育性をかねていて、しかもこどもたちの生活とは切り離せないテレビ、ラジオを教育に利用することを試みてもう10年になりますので、

今では気軽に一週間の生活の中に織りこまれております。NHKの幼児番組も私たちが常に教育立場で検討した細い、注文をつけておりますので、最近では安心して利用し、園全体として(主として生活指導のために)

(C) 経験や活動のまとまりについて

この欄は現在まで私の園では「あそびのまとまり」ということばであらわしてきました単元、または主題とも考えられると思いますが、幼児の生活を第一に考えて目的をもって充分遊ばせ、その遊びの発展がだんだんと組織されて私どものもつ教育のねらいに誘導されてゆくような仕組みを考えたいと思いました。

教師の計画のみでふりまわすことなく、必要な教材や環境で意欲をたかめ、保育形態の工夫や指導によって遊びの方向づけを行なって多くの効果を表わしてゆけるものと信じております。数年来問題としてとりこんできましたこのことばも、今回教育要領最後のページに「経験や活動のまとまり」ということばをみつけて、そのまま使うことといたしました。

これも月別でなく1ヶ月にいくつかあげてある中から各担任が年令別に相談して毎月の指導計画に1つか2つ位取りあげられるように巾広く考えました。

()印のものはとくに総合的指導に発展しやすいものとして必ず取りあげるように考えております。

	年少児	一年保育年長児	二年保育年長児
一 学 期	1. 友だちあそび 2. 元気なこども ・ こどもの日を迎える ・ たのしいおべんとう ・ こりをかわいがる ◎のりものあそび (3)ままごとあそび 4. 時計やさん (表現あそび) (5)魚つり遊び 6. 七夕を迎える 7. しゃぼん玉あそび (夏のあそび) 8. 水あそび	1. 友だちあそび 2. 子どもの日を迎える (3)のりものごっこ 4. たのしいおべんとう (5)時計やさんごっこ (6)買物ごっこ (おみせやさん) 7. 体力あそび 8. 七夕を迎える 9. しゃぼん玉あそび 10. 水あそび	1. きょうからうえぐみ 2. 新しい友だちと仲良く (3)のりものごっこ 4. こどもの日を迎える 5. げんきなこども 6. 小鳥をかわいがる (バードウィーク) 7. 食事をたのしく (8)時計やさんごっこ 9. 体力あそび 10. 室内あそび 11. 夏のあそび
二 学 期	1. たのしかった夏休み 2. たのしい運動会 (運動会を迎える) (3)動物あそび (表現あそび) (4)のりものごっこ 5. 落葉あつめ 6. 劇あそび (7)うりやさんごっこ 8. たのしい子ども会 9. お正月を迎える	1. たのしかった夏休み 2. たのしい運動会 3. たのしかった運動会 (がんばれがんばれ) (4)動物園ごっこ (5)のりものごっこ 6. ありがとう 7. 体力あそび (8)たのしい子ども会	(一年保育児と同じ)
三 学 期	1. お正月あそび 2. 体力あそび 3. 木工あそび (4)たのしいあつまり (みんなで発表会) 5. もうすぐ年長組	1. お正月あそび (2)郵便ごっこ 3. 体力あそび (4)たのしいあつまり (生活発表会) 5. もうすぐ一年生	(一年保育児と同じ)

(月) 「みんないっしょに」年少児、カラー継続視聴、年長児、随時視聴

(主として心情を育てるために)

(火) 「おじさんおはなししてよ」

○年長児のみ随時視聴(カラー)

○ラジオ、「お話でてこい」全園児継続

(水) 「人形劇」全園児継続、年少児(カラー)

(木) 「ドレミファ船長」年少児・継続(カラー)、年長、随時

(主として自然の生活、社会生活を豊かにするために)

(金) 「おててつないで」年少児・随時、年長児・継続(カラー)

第一期 幼稚園生活で 基本的な生活習慣と態度育成のために家庭の協力を

教育要領にもとづくねらい	幼稚園生活で	家庭で
<p>(1)自分のからだや身のまわりをいつもきれいにしている</p>	<p>(1) ・うがい手洗いを忘れずにする ・便所使用のあと、ゆいじりのあとには消毒液または石けんを手を洗う ・便所を上手に使う ・鼻がでたらかむ ・汗がでたり雨にぬれたときはすぐふく ・洗った手はよくふく ・手や指を口に入れない</p>	<p>(1) ・なるべくきまった時間に用便をすませるような習慣づけに努力する ・うがいや手洗い洗顔などしやすいうちに用具場所などことも用に準備する ・鼻をかんでやらないでひとりでかめるように手順を教える ・手の洗い方石けんの使い方ふきとり方を手はやく上手にできるように教える ・いつもきれいなハンカチ手ぬぐいその他洋服の下着類も清潔にし名前をかくのを忘れぬように ・家庭内でも清潔の習慣は家族みんなで協力する ・幼稚園から帰宅したあともうがい手洗いをわすれずに ・便所の上手な使い方を教える(あとしまつ手洗いなども)</p>
<p>(2)健康体になるために自分で自分のからだを注意する</p>	<p>(2) ・便所にゆきたくなったらがまんしないですくゆく ・夜は早くねて朝はげんきに目をさます ・日中戸外にでるときは必ず帽子をかぶる ・ひるねをいやがらない ・病気のときは必ず幼稚園を休む ・予防注射をいやがらない(健康診断をいやがらない) ・いつも姿勢を正しくしている</p>	<p>(2) ・便所の上手な使い方を教える(あとしまつ手洗いなども) ・家庭でも食前の手洗い食後のうがいなどわすれずにくりかえさせるよう努力する ・病気のときごとに伝染病にかかったときは必ず幼稚園を休ませ静かにねている ・おとなといっしょに夜ふかしをしないように注意する ・絵本をみたり絵をかいたりテレビをみたりするとき姿勢を正しくするように気をつける</p>
<p>(3)正しい食事の仕方をおぼえる</p>	<p>(3) ・食事についてのやくそくを守りすきらいをいわない ・のこさない ・よくかんで食べる ・すきらいをいわない ・食事のあとには静かに</p>	<p>(3) ・食事の正しい仕方、偏食矯正には常に努力する ・つかれたらひとりで休息できるようにしむける ・医者や注射をいやがらぬよう常に気配りをする</p>
<p>(4)思う存分あそぶ</p>	<p>(4) ・戸外でげんきにあそぶ ・競争にまけておこらない ・思う存分遊んだあとは自分で自分のからだを休めるよう練習して休む(ひるねをする)</p>	<p>(4) ・戸外で元気にあそぶように身軽な服装にしてよこしてもしからぬ ・誰とでもあそばせ、ときには父母兄弟が相手をしてよろこばせる (なわとび ボーリング まりなげ はねつき 野球水泳その他)</p>

<p>みんな安全のために(安全教育)</p> <p>道徳的意識を育くために</p>	<p>(1) きまりを守って誰よりも仲よくあそぶ</p> <p>(2) 交通のきまりを守る</p> <p>(3) 自分のからだを安全にする</p>	<p>(1) ・あそびのルールをはっきり知って守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分勝手なことをしない ・遊具の使い方をやくそくをはやくおぼえる <p>(2) ・交通のきまりを早くおぼえて必ず守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園の往復は必ず右端を通過して途中でいたずらをしてはいけない(ぶぎけはない) ・自動車やオートバイには特に注意してある ・園外にでたときは必ず先生の指図にしたがって行動する ・戸外であそぶときいつも自分のからだに注意して高いところのほつたりきげんな場所には近よらない ・けがをしたときは必ずおどないう ・何かを口に入れたりしやぶったりしない ・知らない人によびとめられてもついてゆかない ・物をもらったりしない <p>(3) ・便所を上手に使う ・水のみ場や手洗い場をよくこさない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃをひとりじめにしたりこわたりしない ・やくそくや順番を守ってあそぶ ・使用以外のところをうたさない ・かみくずは一定のところにすてる <p>(4) ・入園式や子どもの日など目の丸の旗を園旗として親しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の行事によるこんで参加し自分勝手な言動をしない ・友だちが困っていることをしない ・友だちが困っているときは親切にする ・他人のよろこびをいっしょによりよこんであげる(誕生祝その他) <p>(5) ・きめられたことは必ず守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すなおにおどないうことをきいて行動する(自分勝手なことをしない) ・よるこんでおどないうをする <p>(6) ・おほかあさんにありかどうをいう</p>
<p>(4) 交際や先生のいいつけを守る</p> <p>(5) みんなが気持ちよくあそぶ(生活指導)の気持ちですなおにあそぶ</p>	<p>(1) 公共の施設をきれいに使いたい大切にする</p> <p>(2) 目の丸に親しみをもちょうにする</p> <p>(3) 人のいやがることをしない</p> <p>(4) 交際や先生のいいつけを守る</p>	<p>(1) ・となり近所のことでも安全にあそべる場所を用意する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ともたちのすきらいをいわないで誰とでもあそべるように他家にいったり自分の家によんだりしてあそぶとききまりを守って(遊具のやくそく 時間など) いつも安全であるよう注意する <p>(2) ・家庭内のさわってはいけないもの入ってはいけない所などはっきり教えておく(遊を歩くとき無意識に手をひいて歩かない)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭外にでたときはおどな指図にしたがって我が子かわいさにまけない(電車の中、道路上その他集合の場所などで我が子がかわいさにまけない) <p>(3) ・物を口に入れたり指しやぶりがみえたら早くなおすよう気をつける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・からだの具合がわるいときやけがをしたときは必ずすぐおどないうようにしむけておく ・見ず知らずの人から物をもらったりきせいにのらぬよう日常よくいいきかせておく ・はさみ、きり、大工道具などこわがっているいで父母が上手に使うところをみせたりことも用品をそろえてあそぼせる ・となり近所のことでも仲よくおもちゃを使ってあそびあかたつけなども協力できるかどうか見守ってやる <p>(4) ・必ず国旗を敬意し視察日にはこともいっしょに親しむをもってたてる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さい子どもをからかったりしないようにひとのいやがることをしないよう常に注意する ・誕生祝や他家の出産など他人の家のよろこびをこともいっしょによりよこんでいっしょにしておく ・いっしょにきいておく <p>(5) ・勇気づけてできる範囲の手伝いをさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おどな権利をふりまわしたりおさえつけたりしないいつでも子どもの心を察してはげましたり <p>(6) ・すなおにおやまれるようなふんいきを家庭の中につくっておく</p>

第二学期 基本的な生活習慣育成のために家庭教育の啓蒙

教育要領にもとづくねらい	幼稚園生活で	家庭教育で
<p>(1)自分のからだは自分で注意し健康体をつくる</p> <p>(2)自分のからだや身のまわりはいつもきれいにしている</p> <p>(3)正しい食事をする</p>	<p>(1)暑い日は必ず帽子をかぶって戸外であそぶ(登園の際も)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けがをしたときは必ずすぐ手当をうける ・身体の具合わるいときは必ず先生に告げて手当をうける ・夜ふかしをしない ・気温に合せてひとりで衣服を調節する ・寒くなったもうがよいや洗脚、手あらいをわすれずに寒くなったも厚着をしない ・ぬれた手足ははやくふきとっていつもきれいにしている ・下着類のとりかえをいやがらぬよう、身長体重測定するときも手ばやくぬきができるように ・よくかんでのこさず食べることやおかずだけを先に食べてしまわぬよう、またあまり時間をかけぬよう食事をひとりで上手にする ・元気に戸外で思う存分運動する ・運動したあとは必ず休息をとる ・みんながやくそくをまもって気持ちよく安全にあそぶ ・友だちがけがしても自分がけがしてもすぐ手当をうける ・みんなであぶないところへいかないようにグループで気をつける ・交通のきまりを守りあまり交通のはげしいところはさけて森園する ・電気器具などさわるときは必ず手の水気をとってからにする ・冬の暖房器具を知っていてさわったりしない ・見知らぬ人のきさいかけにのらぬようはつきり注意する ・ストーブの周囲であそぶときは必ず注意してあそぶ 	<p>(1)夏休み中の成長がおとなの指図なしにひとりであちこちへ出す習慣がついてしまったこともあるのでまた暑い日中戸外であそぶときは充分注意する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けがをしたりからだの具合がわるくてもがまんしているときが多いので注意して必ず教えるようにしむける(からだがわるくても幼稚園を休みたがらない子どもが多い時) ・気候のよいとき思う存分あそぶので衣服のよかれや手足のよかれが自立つければ案内親子とも平気である場合が多いので下着類でも充分注意するように ・気温によってチェック上衣などの調節は必ずひとりでできるように ・洗髪、爪きりなど常に注意して必ずこどもの方から気づくように ・風呂に入ったときなどのからの洗いか、手持の使いかなどひとりでできるように ・家庭でも食前のうがい手洗いは忘れずにあそびに夢中になって食事をいそがぬようよくかんですきらいをいわず正しい食事の作法を教えておく ・気候もよいしオリソンビク気分体力増進のための家族中で運動する機会をつくり思う存分体力の消耗したあとは必ず休息し栄養には充分気をつける ・自分のことだけでなくとなり近所のこともや幼稚園のともだちグループみんながいっしょ安全な場所であん心してあそべるよう細かい配慮をしてやる ・小さい教念箱など用意してこどもに使用できるよう教えておく ・交通のはげしくない路をしらべておいてこどもにも道順をしつかりと教えておく ・家庭電機器具の中には子どもがいつしよに使用できるものとさわってはいけないうものがあることを教えてやくそくを守る ・ぬれ手でコードをもったりソーターの部分など手をださぬよう必ず教えておく ・ストーブのそばや石油コンロのそばで遊ばぬよう注意する
<p>(1)自分のからだを安全に</p> <p>(2)交通の規則を守る</p> <p>(3)自分のからだを安全に</p>	<p>(1)みんながやくそくをまもって気持ちよく安全にあそぶ</p> <p>(2)交通のきまりを守りあまり交通のはげしいところはさけて森園する</p> <p>(3)電気器具などさわるときは必ず手の水気をとってからにする</p> <p>(4)冬の暖房器具を知っていてさわったりしない</p> <p>(5)見知らぬ人のきさいかけにのらぬようはつきり注意する</p> <p>(6)ストーブの周囲であそぶときは必ず注意してあそぶ</p>	<p>(1)自分のことだけでなくとなり近所のこともや幼稚園のともだちグループみんながいっしょ安全な場所であん心してあそべるよう細かい配慮をしてやる</p> <p>(2)交通のはげしくない路をしらべておいてこどもにも道順をしつかりと教えておく</p> <p>(3)家庭電機器具の中には子どもがいつしよに使用できるものとさわってはいけないうものがあることを教えてやくそくを守る</p> <p>(4)ぬれ手でコードをもったりソーターの部分など手をださぬよう必ず教えておく</p> <p>(5)ストーブのそばや石油コンロのそばで遊ばぬよう注意する</p>

<p>れるように</p> <p>(4)災害から自分をまもる避難訓練に参加する</p> <p>(1)公共の施設をきれいに使</p>	<p>・ひとりりでたまっへあそびにいかないよう自分で気をつける</p> <p>・運動会その他の行事に参加したときはしゃきすぎてけがをしないように</p> <p>(4)・災害の場合を考えて避難訓練には先生の命令を絶対守って行動する</p> <p>(1)・行事などで参加する小学校の運動場体育館公会堂など公共の施設をきれいに使いまた親しみをもちようにする</p> <p>・いろいろな公共施設に親しむと興味をもつ</p> <p>・自分ごみはごみ箱に(消溺室 交通博物館 郵便局 その他)</p> <p>(2)・世界各国の国旗にも興味や親しみをもち</p> <p>・国の行事にはいつでも国旗を出すことを知って父兄の手伝いをしてかかげ親しみをもち</p> <p>(3)・自分のことをしてくれる家族や公共の仕事にタッチしている人たちに感謝の心を表わす(すなおにありがどうかいえる)</p> <p>・親切にしていたいたことをわすれないでこともらしくありがどうかいえる</p> <p>(4)・テレビでニュースなどをみたときはこともらしく話し合って考える・自分のもっているものでも時には気持ちよくわけてやる</p> <p>・世の中のできごとにもこともらしい関心をよせてニュースなどをききこともらしく話し合う機会をつくる</p>	<p>・見知らぬ人についていかぬよう、またチヨコレートやクランペンなどの誘いかけにもものらぬよう折あることに話し合っておくように</p> <p>(4)・遊びの範囲が広がっていくことを充分知っていて子どもをみつめているように</p> <p>・火事地震など不測の災害のあることも話し合って必ずおとなの指図で行動するように練習しておく。また幼稚園での避難訓練などにも協力する</p> <p>(1)・おどなどいっしょに公共施設を大切にすることを常に感じさせるように</p> <p>・おどなもいっしょに遠出したときの生活態度を注意する</p> <p>(2)・国旗のしまっている場所は家族の者みんなが知っていて行事のときはみんなが親しみをもち国旗を用意するよう心がける</p> <p>(3)・最大もらさず日頃好感をよせて下さる方やいろいろと手伝って下さる方になりがどうかいえる機会をつくる</p> <p>(4)・理屈で教えるのではなくテレビや新聞のニュースなどもこともらしい関心をもちながら世の中のできごとを知らせる</p>
<p>ひとりひとりで</p> <p>(2)国旗に親しみをもち</p> <p>(3)感謝の気持ちを表わす</p>	<p>(4)社会のできごとに目をむけて助け合ったりよここび合う</p>	
<p>ひとりひとりで</p> <p>進徳的感謝をもちよここ</p>		

第三学期 基本的な生活習慣育成のために家庭教育の啓蒙

教育要領にもとづくねらい	幼稚園教育で	家庭教育で
<p>(1)自分のからだをより健康的に注意する</p>	<p>(1)・寒さにまげず戸外でけんきに遊ぶ ・外からかえったとき（登園したとき）うがいや忘れずにする ・寒くてもスマートフォンや火のそばにはばかりいれないように、またぬれた手をそのまま火にかざさないように注意する (2)・水を使ったあどの手はきれいにふきとる（しもやけにならぬよう注意する） ・寒くても洗顔はみがきうがいなど毎日するよう約束し実行させる</p>	<p>(1)・子どものうごきが自由に思う存分できるように厚着をさせないように注意する ・幼稚園の往復外出の際はうがいの習慣づけに努力する ・暖房器具のそばで子どもたちがあそびやすいように一定の遊び場所を用意してやる (2)・身のまわりのことの清潔については保護者の責任において注意する ・今までについていたよい習慣が冬休みなどでくずれぬよう毎日よく見守ってやる</p>
<p>(2)自分のからだや身のまわりをいつもきれいに</p>	<p>(3)・きめられた時間内によくかんてたのしくお弁当をすませる ・食前食事中食後のやくそくをきちんと守る (4)・寒くても思う存分運動して手足を充分のばし身体中の運動神経を働かせる（どんな遊びにも参加する）</p>	<p>(3)・食事についてはお弁当の効果が充分表われている時期であるから家庭でも同じように正しい食事の習慣を身につけさせる (4)・冬休みなど父母も相手をして子どもの体力で増進に協力する ・ことに幼稚園生活の消極的なこともは必ずなわとびボールなげホーリングなどでゲームをして競争心をもたせるようにしむける</p>
<p>(3)正しい食事をする</p>	<p>(1)・一度おぼえた交通のきまりはくすねないように幼稚園の往復は物論外出の際は必ず実行するよう誘導する (2)・お互い気をつけてけがをしないようにきけんな場所は立ち入らぬよう注意し合う ・グループのことも同志きげんでないかをたしかめ合ってから遊ぶ</p>	<p>(1)・おとどが多忙のあまり交通のきまりをくすねるときもあるので特に注意してことどもといっしょの場合はせつないにまがいをおこなさい ・交通のきまりをおぼえさせると同時に常に敏しようさを養うよう努力する (2)・子どもの好きな場所は、せまい場所、人の通らぬようなところなど多いので常に安全さをたしかめておくと同時にせつないにきけんな場所に立ち入らぬよう常に教えておく</p>
<p>(4)交通のきまりを必ず守って安全に生活する</p>	<p>(2)友だちみんながいつもげんきに安全に</p>	<p>(3)・幼稚園では先生に家庭では両親に、また、近所のおどなにいわれたことは絶対に必要だということを話しておく（テレビ新聞ニュースなどの実際におきたことなど含めて） ・いつもおどなの話を終りまでよくようにできるだけ聞くわかりやすく話を</p>
<p>(3)寒害の折に出あったとき安全に自分の身を守るように</p>	<p>(3)・寒害の折に出あったとき安全に自分の身を守るように</p>	<p>(3)・寒害の折に出あったとき安全に自分の身を守るように</p>

<p>な た め に</p>	<p>(1)公共施設を大切にすること</p> <p>(2)国旗に親しみ敬う</p> <p>(3)感謝の気持を表す</p> <p>(4)協力の精神を養う</p> <p>(5)みんなが気持ちよく生活する</p>	<p>(1)・自分のものと他人のものをはっきり区別してどちらにも大切にすること</p> <p>・あやまって人のものをきずついたりこわしたりしたときはすなおに報告しあやまる</p> <p>(2)・国家的行事に関心をもち、そのために国旗をかがげることをおぼわぬで実行する</p> <p>(3)・公共施設やその他の場面で働く人にも感謝の気持を表わしきがあるにあらがとうをいう</p> <p>(4)・自分のきらいなことでもよろこんで参加し協力する</p> <p>(5)・ひとの喜びを共によること、気持ちよく生活する</p>	<p>(1)・とかく自分のものだけを大切にしたりひとにかすのをいやがったりするので日常生活をよくみて、正しいおとなの生活のそかせるように努める</p> <p>(2)・おとなたちの生活のすべてをまねして、いくで国旗に対する親しみをもてるよう家族全体で常に注意している</p> <p>(3)・家庭内だけでなく、近所や、また公共施設に働く人たちの苦勞苦心談などときどき話題にして、家庭内でもみんなが感謝の気持をもつよう心がけている</p> <p>(4)・とかく自分の好みにあつたことだけに夢中になるので、時には興味がなかつたりきらいなことにも参加してみようとする気持を育てよう心がける</p> <p>(5)・他人のよること、喜びを共によることが、高次元なことであるときめいていないで、家庭内は勿論となり近所の人たちとの生活の中でもよること、あう機会をつくるよう努力する</p>
----------------------------	---	---	---

(土)「きたきたきたよ」(同右)

3 安全教育への努力

古びた園舎、園庭、施設全般についての安全性には常に細い配慮をもって注意しておりますが、こども自身には行動の面で「敏捷性」を養い、精神面では「人にめいわくをかけない、やくそくを守る」ことなど、特に交通のきまりについては帰国の際にくり返し注意し、実生活の指導に心がけて安全教育の徹底を家庭と協力して努力しております。

4 保護者の啓蒙に努力

幼稚園教育全般にわたっての効果をたかめるためにも、ひとりひとりの基本的な生活習慣や態度の育成にも保護者の協力なしにはできないことが多いので「両親教育」には非常に力を入れております。毎月の「幼稚園便り」や、クラス別保護者懇談、一学期一度の「園長の話」の他にPTA活動としても講演会などをもって家庭教育の啓蒙にとめております。

7頁、12頁の表は一年間私たちが常に心して努力していることの内容を家庭にも徹底させ、協力してもらえようように、幼稚園便りの内容や、保護者懇談会の折の話し合う材料として用意してある年間計画表ともいえるべきものです。

(文京区立第一幼稚園長)

日本保育学会第18回大会

会期 昭和40年5月22(土)・23(日)日
会場 東京家政大学

国電 十条駅下車7分
都電 板橋駅前下車7分
国電 板橋駅下車スクールバス3分

スケジュール

第1日 個人研究発表
第2日 個人研究発表
シンポジウム・その他

連絡先

東京都板橋区加賀一丁目18-11
東京家政大学児童学研究室内
日本保育学会第18回大会準備委員会
電(961) 五二二六(代表)